

附属機関等の名称 会議概要

1	審議会名	第10回交流学习センター施設検討委員会
2	日時	平成18年7月14日 午後6時～午後9時20分
3	会場	安曇野市豊科近代美術館、豊科総合支所第1会議室
4	出席者	益子委員長、草深副委員長、丸山委員、中島委員、細野委員、松尾委員、中田委員、山田委員、藤原委員、巻山委員、中嶋委員、細萱委員、小口委員、赤沼委員、曾根原委員、三枝委員、松田委員、細川委員(まちづくり推進課長)、松枝委員(社会教育課長)
5	市側出席者	望月教育長、小林教育次長、曾根原文化振興係長、財津文化振興係主査、丸山豊科教育課生涯学習係長、下里穂高教育課生涯学習係主査、那須野三郷教育課生涯学習係長、高橋堀金教育課生涯学習係長、竹田明科教育課課長補佐
6	会議概要作成年月日	平成18年7月21日

1. 会議の概要  
 豊科交流学习センター施設建設計画地視察  
 交流学习センターに複合的に整備すべき機能について  
 その他

2. 協議

- ・先程豊科近代美術館の視察は2回目。館長さんに説明頂き、芝生の所の建物の大きさ等並びに代替案を説明頂いた。前回の複合施設について、どのような形で複合させていくか、どのような施設が必要なのかという事を議論頂いた訳ですが、今日見たものを含めてまた議論頂きたい。事務局の説明をお願いしたい。
- ・【資料1説明】(前回の第9回検討委員会の議事録)。あまり簡敏にせずなるべく皆さん方のお話頂いたことを内容をまとめさせて頂いた。議事録については、召集通知と同時位に出来るといいと思っているが、今日になってしまった。今日は書記も招集したので、次回からは召集通知と同時にこういうものをお出しできればいいなと思っている。遅くなったが見て頂きたい。
- ・前会の会議のなかで美術館というものを考えた場合、美ヶ原高原美術館を例として、人を育てる場所であって欲しい。新しい人材を育てる場所、そういった美術館が望ましいのではないかという意見があった。その話のなかで、公募展の話があったので資料をとりよせてみた。【資料2説明】

【資料配布】

検討委員会としての合意事項等をまとめさせて頂いた。新設または既存施設かの点は、まだ明確には決まっていない。複合施設のことを私共は交流学习センターと総称している。複合機能に関わる提案を、第8回目の時に提案させて頂いている。

<複合機能に係る教育委員会提案>

1. 豊科交流学习センター施設には、図書館に併設する機能として「美術館補完機能」を整備したい。
2. 建設位置は、豊科近代美術館に接し、美術館南側の芝生の位置としたい。
3. 補完機能の整備は、豊科近代美術館が安曇野市の基幹美術館として内外から認められる規模、内容のものとする。

これについて、前回様々な議論を頂いた。

【配布資料「第10回検討委員会の議論の資料として」】

- ・皆さんから出た疑問質問に対して資料に基づき、事務局から答えてもらった。
- ・過日市民タイムスに安曇野市の図書協議会で議論された、開架図書と閉架図書の取り扱いについて掲載さ

れていた。現在、中央図書館と地域図書館という方向の検討の図書の数と、協議会と検討委員会の内容がどのようにマッチングしてくるのかわからない。その関連性をお聞きしたい。

・昨日の朝刊だと思う。安曇野市の図書館計画が、ここで皆さんに計画して頂いている方向が見えてこないと議論もできないので一昨日開催した。内容は、選書と除籍の基準についてで、説明をし理解頂いた。

この話は、今の話で新しい本を入れるために古い本を処分する、その基準を全市でそろえようという趣旨のもの。

・豊科の蔵書規模 66,000 冊は、変わらないか。

・検討委員会ではそうまとめて頂いたと承知している。

・豊科町で計画していた時の図書館のは、66,000 冊より多かったと思う。ということは、この図書館の規模だと大きいのではないか。もう少し縮小してもいいのでは。最初に各町村で考えた案を見せて頂いた時に、こんなにすくなくもいいのに、という声もあった、ところが今回の提案はそれを更に上回るもの。びっくりしている。

・学習機能を持たせる等、図書館も美術館も少しずつ修正されていくと思う。文化祭のような催しがあったが、本来は公民館等で開催されるべき。例えば、市民ホールができればそこでできる。みなさんいろいろな意見を持っていると思うが、お受けしてひとつひとつまとめていきたい。

・これまでにどこまでが確認されているのか、今日はどの部分を検討していくのか、はっきり確認してほしい。

・まとめさせて頂いたのがこの内容なので、この内容でお答えしている。他にまだ質問があれば、お受けして、これをまとめてひとつのものにしていきたいということ。

・念のため申し上げておきますが、検討委員会としての合意事項は決まっている、提案についてはまだ決まったというわけではない。

・図書館に美術館補完機能を併設する、このことについてはいかがか。

・旧豊科町の最初の計画では、この建物の中に AV ホールを作りたいという構想が出された。今日の資料をみるとホールができるのかできないのかわからないが、できるそのままの図面が出されている。ホールは出来るということなのか、ちゃんと説明を。

・今日出した図面は、旧豊科町時代の配置図・平面図で、ホールが入ったかたちの絵になっている。ただ、今日の説明ではホールについて触れていない。これは先日もいるのかという議論もあった。それも承知している。私共は、今日は図書館に美術館補完機能を併設する、このことを確認したい。ホールはどうすればいいのか考えあぐねている。ただ、今議長がまとめた学習機能のなかにホールが含まれるとは考えない。別として進めて頂いてよいと思う。

・全体的な規模をもっと縮小できるのではないか。学習機能というのは当然必要だし、ホールがなくなったとしても施設は建設可能と思う。出っ張っている部分をひっこめればもっと芝生の部分が生かせるのではないか。芝生については、新しく芝生を作って頂けるのであればひとつの機能だろうと思うが、今日の視察の時も小さな子供たちが遊んでいた。この前もおばあさんが子供をひなたぼっこさせていた。ああいう風景は非常に大事だと思う。何処へでもいいから作ればいい、ではなく、全体のロケーションを考えながら、ぜひ、芝や景観、情緒をなるべく残すようにしながら、計画して欲しい。

・芝生の所に建物がかかるのは仕方ないと思う。しかし、なるべく少範囲にして欲しいと思う。芝生の年間維持に 30 万円かけるより、メリットのある建物を建てた方がいいという意見も聞いたが、芝は光合成をしている。私達は自然の恩恵を受けていることを忘れないで折り合いをつけていくことが大事ではないかと思う。

・必要な機能を持った建物ということで話を進めて頂いてきた。3 階建てになってしまうかという話も出た位である。具体的な場所と規模についてはこれからすこしづつまとめていくということにして、今は図書館と美術館の併設について協議して頂きたい。

・交流施設として検討している訳で、いかに住民の皆さんがそこに集まり、利用して交流を深めていけるかというのが根本にある。芝生の問題等、確かにいろんな条件がある。費用の問題等も。ただ、制約の為にこういうのができるというのが薄れていくというのはよくないと思う。美術館としての機能をより出さないと

いけないというのはよく感じている。内容をこれから検討していけばいいかなと思う。ちなみに、アンケートでも、計画段階の時、ホール（集会の場）が欲しい、というのは強く出たこと。

- ・その時に、複合施設ということについてはどんな意見がでましたか。
- ・単独でなく、ぜひ付け加えてほしいということ。
- ・そのことは、設計に集約されている。
- ・それへの反対意見はあったか。
- ・表立って反対した声は事務局にこなかった。しかし、今芝生についての反対意見は出ていた。
- ・複合か単体かで違うけれども、複合についてご意見、ご議論を頂きたい。それを決めてから規模と場所についてきちんと決めたいと思う。
- ・質問ですが、美術館にアトリエをつける、図書館に学習室を設けるというのを複合施設というのか。
- ・性格の違ったものをということだと思う。図書館と美術館とか。
- ・そうですね。ということは、今議論されている複合施設というのは、美術館と図書館を一緒にするということか。アトリエとか学習室といったものはそれぞれに付帯している施設として考えるというか。
- ・それをこれから、必要なものであればこれからご議論して付けていく、ただ全てを付けると3階建てが必要かなという話になってしまう。先ほど、ホールは要らないのではないかと、図書館は縮小してもいいのではという意見も出てきた。
- ・では複合施設というのは、まだ隣をくっつける、というのはこれからか。
- ・今提案が出ているのは、市の方からは美術館と図書館。
- ・あれこれ色々混ぜるのは、私は個人的に反対。何故かということ、安曇野市には美術館が一杯ある。訳のわからない美術館が一杯あるなかで、豊科近代美術館が一番美術館らしいと個人的に思っている。美術館が美術館であるべく芝生の所に建物が拡張されるのは仕方がないが、そこに図書館やホールをくっつけるというのが、私はおかしいと思う。施設拡張が大きな絵を飾る為でもある、というのはわからないでもない。しかし、今現在けっこう素敵な美術館であるが、この計画で今以上に素敵な美術館になるとは思えない。
- ・単体で考えれば誰もがそういう意見であると思うが、地域の方の平等という観点を考えれば、何年かかけて、地域の要望があがってきた計画であることを踏まえてほしい。地域住民の要望に沿った形で、ベストな形を、大きな視野で見てください。
- ・安曇野市全体としての美術館という発想はなかったのでは。新たに安曇野市全体としての美術館というが出てくると面積がおのずと変わってくる。さっき図書館だけの問題で6万だからもっと小さくならないかという話がでたが、やはり、話し合いとしては、三つの提案を結びつけながら話し合いをした方がいいのでは。また、私は美術館と図書館が結びつくことは賛成。機能的にどちらも高まると思う。文化的じゃないような複合もありうる。これは安曇野全体の状況をみると、明日あさってと安曇野の自然と文化を考える会があって、すでに文化センター的な位置付けができていように思う。図書館がつけば機能がさらに強まる。安曇野という所は、文化的なものに非常に、なかからも外からも注目されているから、美術館を拡張していく、豊科の悲惨な状況を考えてみると、どこかにいかなければならない、この案が一番現実的だと思う。今、意見が出たようなかたちで、図書館はどっかへ行けというなら、代替案をしっかりと出さないと議論にならない。先ほど豊科地域に他の建設計画が無いということだが、財源の効果的活用というものを考えると、今の案が一番現実的で文化的にも効果がある。
- ・三郷の場合も複合館ということをお願いしてある。これは、複合にした場合、経済上も運営もうまく行くのではないかというのがある。高尚な芸術の他に、一般の人が親しみやすい作品・雰囲気も大事と思う。あと、イベントを通してとにかく多くの人に親んでもらいたいと思うので、私としては美術館と図書館の併設に違和感はない。
- ・この辺で道を決めたいと思います。図書館に併設する機能として美術館機能ということに納得がいかない方はいらっしゃいますか。

【挙手】

- ・一生懸命検討しているのに、結局最初の案のまま何も変わっていない。残念な思いで挙手できませんでし

た。

- ・総意がとれないうちは進みません。みなさん納得のいくまで議論すればいいと思う。
- ・美術館と図書館は、本質的に違うと思う。しかし図書館の行き先が無いという点においてやむを得ない。そう思い賛成した。その辺だけご理解頂きたい。
- ・どなたか代案があれば教えて頂きたい。
- ・面積的にもう少し小さくしながら機能的に完備していくことはできないか。この方向が、最も皆の意見を汲んだものと思える。
- ・事務局の修正がどの程度可能か。
- ・十分可能ではないかと思う。ただ、この設計は豊科町の都合で書いた図面で、安曇野市として新しく設計しろという場合は対応しなければならない。検討委員会の方で設計の見直しをしるとまとまってもらえれば、教育委員会の方でも真摯に対応しなければならないと思う。
- ・美術に関する書籍位は充実させて、美術品の為に大きな美術館を、という方針でお願いしたい。
- ・豊科交流学习センター施設というのは、公民館的機能も一緒に入れてあるということか？
- ・これからみなさんがご議論頂く可能性があると思い申し上げてしまったかもしれない。
- ・豊科交流学习センター施設の名称は。
- ・正式名称ではなく仮称。ただ 3 つの施設は類似している。くくらせていただいているということでご理解頂きたい。また、財源のことも関係している。ただ、内容的には美術館のきちんとした増築、ということになれば、それは皆さん方の思う通り。
- ・美術館を主体にした総合施設ということなら、図録の収集など意味がある。今日視察に行った時、美術館にテントを建てていたのを見て興ざめた。人が集まるというのはとても大事なことだが、それをあそこでやるのはちょっと。豊科の事情はよくわからないが他にやることはないのか。ブロンズ像が悲しがっていると思う。ああいうのが総合施設というなら挙手はできない。美術館の整備と美術に関する教育施設の付加を望む。
- ・私も挙手しなかった。すみません。前段階からやっているが、実際反対する人から話も聞いて 99% 納得しているが、残り 1% 納得できていない。この先の協議で、皆が納得できる、市民の皆さんに説明できるのであれば、賛成。
- ・テントの問題だが、近代美術館は今まで入場者が少なかった。様々なものを取り入れて来場者数を増やそうと努力されている。それはご理解頂きたい。
- ・美術館が主というのはいいと思う。ギャラリー等を完備していくのはよいと思う。
- ・豊科で検討してきたなかで、美術館の歴史もそうだが、いわゆる外向きの特定の観光とかそういう方向けのものでいくのか、日々町民が集うような美術館を目指すのか議論が長らくあった。一時は芝生に入っていけない管理もあった。それはおかしい、という議論も経て、今いろんな環境ができてきた。まずは地域のみなさんに親しんでいただける美術館を理念に今に至っている。そこにはソフトの取り組みもあり、美術一色で創作者を育てる面もあるが、加えてもっと身近な交流エリアとしての、よくばって両方目指してきた。テントの話だが、生涯学習計画 豊科地域の皆さんが最も集まりやすいという背景もある。よくばってテントがある場所は、町民が自由に展開しやすい場所。豊科は、改めて広大な土地を求めたいと思っても高くて難しい実情がある。美術館の性格について議論いただきたい。ヒントとして、ギャラリー。これは、もともとは生活工芸品を展示しようとしていた。展示しにくい。離れてみるスペースが無い。つまり改築増築の余地がある。市民が気楽に使えるギャラリーを広くとってある。これは展示がないときは交流の場になる。豊科の皆さんはそれを色濃く希望としてもっていたと聞く。
- ・美術館をメインとして、複合施設でやむを得ないという方もいたかもしれないが、美術館に補完された学習機能を持った図書館で、それは美術館がメインである。という意見が強まってきたように思うが。

挙手をお願いします。

【全員挙手】

ありがとうございます。

豊科交流学習センター施設には、図書館に併設する機能として「美術館補完機能」を整備したい。ということがクリアされたかたちになりますけれども。あと建設位置の問題ですが、どの位の機能を持たせるかでも違って来る。

- ・細かいことかもしれないが、「美術館に併設する機能として図書館機能を整備」と書き直す必要がある。
- ・名前は皆さんこれから決めていただければいい。機能内容についておはなしいただくなかで決まってくると思う。あと30分ですが、休憩をとらずに続行してよろしいか。では、内容につきましては沢山出ている。改めてこんな機能が欲しいこんな機能いらぬというのではないか。
- ・キーワードを申し上げたい。美術館としての品位を大事にして欲しい。中身の問題、建物の要素、建物をとりまく空間。庭。無駄なような空間でも大事にしなければならない。そこで提案だが、美術館としての品位とは何か考えよう。疑問を持って頂きたい。各々が探求してもらえればおのずと形が見えてくるのではなかろうか。
- ・みなさんからたびたび頂いている意見。こういった催しは他ではできないか聞いたら、ここしかできないからセンターみたいなかたちになってしまっている、空き施設が出来た場合は、できてくるであろうと思うが、美術館の中に必要という意見が皆さんのなかから出れば、みなさんのイメージを話して頂いて形を作っていければと思うが。
- ・テントの件は、一時の話で、誤解しないように。
- ・博物館協議会の記事が載っていて、豊科近代美術館の記事が含まれていたが、あの辺の主旨がわかればお願いしたい。
- ・収入、管理運営費の話だと思う。運営のこと、ここの議論とは異質のこと。
- ・美術館の運営は難しいという記事。豊科の美術館はどういう風に運営されていくのか。美術館の規模ほどの程度が普通とされるのか。皆さんの意見をお聞かせ願いたい。
- ・具体的には、事務局にやってもらうしかない。意思を委託できれば、私たちの任務は終わると思う。機能の問題をここでしっかり確認できればよいと思う。
- ・機能にこだわっているが、機能によって形が決まるので、具体的なスタンスを決めないと、事務局の再提案も難しいと思われる。参考に代案を出して欲しい。
- ・美術館好きの私から見るとあれは欠陥美術館。間取りの変更ができるのなら変えたい。あれは巨大迷路みたいで美術館の機能を果たしていない。改修できればある程度の機能ができるが、改修できないのなら、それを補う部分を付加設備すればいい。専門家の目で検討してもらいながら指導頂くのが必要と思う。それから、先ほど細川課長の意見について、私は両方の性格をもたせるべきと思う。ただはっきり言って今の収蔵品では観光客は呼べない。企画展を継続してうつしかない。(物産販売もいいが、本道のかたちで収益を得るよう努力されたい。
- ・文化的な価値というものをどう見ればいいのか。荻原碌山は碌山美術館が作られた事が大きい。建物の中に収まる、集められ、研究がなされ、評価される芸術家もある。それは専門家の力を借りる必要がある。我々はその骨組みを決める、これが大事と考える。
- ・地域図書館を目指して進めてきて、市に変わって、機能が果たせられるものになったら素晴らしいなと思う。
- ・これからのことをお話頂いたが、専門家の声を聞くのは必要だと思う。
- ・提案申し上げたい。今日は3つの提案を確認して欲しい。ニュアンス、機能はこちらでまとめて、次回見て頂くようにしたい。難しいのは、ホール。これは別途の所で議論するようにしたい。
- ・事務局の方からお話が合ったが、図書館は美術館がメインのもので、その内容は皆さんに親しまれるもので、外から来る人には品位がみられるもの。大きさにあわせて場所がきまってくる。
- ・豊科の場合、ホール、集会施設が欲しいという住民の声があったのも事実。絶対入れなくてはいけないではないが、外すとしても、住民が納得のいく説明ができるようにしたい。検討していくことには賛成。
- ・市としてのホールの規模については様子を見ながら検討頂ければと思う。
- ・確認したいが、ホールは今、検討材料としては一切無いということか。美術館を主体にした図書館をとい

うなかにホールも集会施設も入ってくるということか。

- ・必要とあれば。全く必要無いという意見が多く出ればそうなと思うがそんなことはないと思う。
- ・集会施設が欲しいということはわかりますが、それがホールというのはわかりません。
- ・設計図のなかのホールの部分、でっぱった部分を半分位で済ませられないか。ホールは 2 階にあるが、吹き抜けだということと半分なのと、威圧感が違う。
- ・その話は先ほど出ていたで、そういう問題含めて、これから、資料も集めながらホールの規模・機能も含めて検討したいと思う。
- ・ホールというのが別物をくっつけているのではなくて、美術館も図書館もホールも相乗効果で、活性化できるということで。
- ・みなさんもそのようなご理解頂いていると思う。もうひとつ、場所の問題をクリアしたい。芝生の所へということだが、やむなくという方が多いと思うが。
- ・位置の問題についてだが、美術館の東の収蔵庫・武道館の位置はどうか。芝生が生きてくると思う。やがて武道館の位置はどうかという事になるが支所が無くなってくるとどうか。選択肢のひとつに入れて欲しい。
- ・美術館とつなげていくのはどうですか。
- ・穂高のなかでも、何処に作るか話し合いがされた。非常に苦労した。テニスコートはどうだろうという意見もあったが、今、実際使っているという事実は強い。そこを壊してなんて話になったら大反対が起こる。無理だと思う。今まで出ている線が造形的にも一番良いと思う。
- ・芝生の所に立てるのは反対。やむお得ないと半分思う。ただ、図面の絵がどうしても外観がもしここに立てるのであればもういちど設計し直して欲しい。
- ・安曇野をよく知らない人が描いたと思ったがそうだった。北アルプスをガラスに映してそこに入っていき、その設計のコンセプトをもう一回検討して欲しい。美術館と同じような建物で、できれば少しの規模で増築して頂きたい。できればいちからコンセプトを明確にしてやって欲しい。
- ・賛成意見が多いようだが。
- ・私もプロポーザルで入ったもので、弁解する訳ではないが、長い時間をかけて詰めて 10 社のなかから慎重に審議でやってきた図面であることは理解して欲しい。内容の変更で外観の変更も考えられるが、変えるありきではこまる。かなりの費用も使っている。
- ・設計段階の時の絵と、どうしてこういうものを設計したかという資料では、要望ののっとなって設計をして頂いたようだ。
- ・近代美術館の現在の景観は素晴らしい。大事にして欲しいと思う。プロポーザルでの計画もほんとうにずいぶん考えられてのことと思うが、なるべく美術館の姿を残したかたち、マッチした形を考えて頂ければと思う。
- ・私も美術館のたたずまいと芝生の広場が好きで、あそこに建設されるのは非常に残念に思う。美術館そのものを主として考えるならば、美術館の入り口の方に関わる図書館の 1 階の建ち方はむしろ逆の方向にという。それからイメージとして美術館の方を主として、図書館は反対の東側から出入りできた方がいい。それから交流学习センターという呼び方は、地域のなかでの交流というものを考えれば、ある程度ホールというのも一緒にあっていい施設と思った。それをすると 3 階建てになると、これもちょっといただけない。いろいろ迷いの多い考え方をしているが、意見として申し上げた。
- ・美術館に合った、マッチした周りの景色と建物をもう一度設計し直して欲しいという意見が多かった。
- ・今の美術館の上に増築して増築部分を減らすということは難しいのか。
- ・美術館の上に図書館を作るという意見だが。
- ・図書館ではなくて、ギャラリーとかそういう機能を。
- ・基本設計の案は、建築法上の難しさがあつたと聞いている。いずれにしましても、設計変更が普通だというのは概ね皆さん方の総意だと思う。その辺をまとめて頂ければ実はいろんな意見があつた。専門家の声を聞く等あつた。他の議論をして頂く間にちょっと時間を頂いて、どんなことができるか、できる範囲についてはお答えできるのかもかもしれない。そのなかでは、真摯に検討させて頂きたい。武道館の問題、正面を避け

てと景観を崩すなということ、施設を壊してまでは難しいが、少し東にずらす設計変更もできるのかもれない。時間を頂ければいろんな部分で検討してまたお答えしたい。

・検討皆さんの意見を頂くなかで、変更する部分については専門家と話をしながら時間をとってお答え頂けるということ。今、やむなくというのがあったが、芝生の部分に建っていってしまう、仕方がないというご意見が多い訳だが、美術館の位置について、設計変更しながらなるべく景観を損なわないような建物を芝生の位置にどのくらいのものを示してしまうかわからないが、建設をさせて頂くということでまとめさせて頂くということではどうか。

**【全員挙手】**

ありがとうございます。なるべく景観を損なわないような形で設計変更して頂くということではよろしいか。豊科の仮称交流学習センターは、美術館に併設する図書館機能の施設を整備し、芝生の位置に、設計変更をしながら、景観を損なわないような設計を見直して頂く。それから、内外からも認められるような内容のもので設計して頂く。

この3つをまとめさせて頂いた。

・先ほど申し上げたように、今日、前回、議論の内容を文章にまとめて次回お出ししたいと思う。できたらその次の段階で、私共としましては、穂高の施設の方に議論を進めたいと思う。

・次回7月28日午後6時30分から。場所は通知。